

平成二十一年度 大宮法科大学院大学 第一期入学試験 小論文試験問題

《受験上の注意》

- ・ 問題用紙は試験監督官の指示があるまで開かないでください。
- ・ 携帯電話や時計のアラーム等は切っておいてください。
- ・ 試験開始後、直ちに乱丁・落丁や印刷が不鮮明な部分がないか確認してください。
- ・ 試験時間は、百二十分です。
- ・ H B以上の鉛筆を使用してください。
- ・ 答案の下書きは、所定の下書き用紙（一枚）に行ってください。
- ・ 試験終了の合図とともに、直ちに筆記具を置き、係員の指示に従ってください。
- ・ 問題用紙及び下書き用紙は回収します。
- ・ 試験時間中の途中退回は認めません。

平成二十一年一月十八日（日）
午前十時 ～ 午前十二時
* 問題文は終了後回収致します。

受 験 番 号

平成二十一年度 第 期入学試験 小論文問題

次の問題文Aは、内田樹「呪いと言論」（鷲田清一・内田樹『大人のいない国』第四章、プレジデント社二〇〇八年刊）からの抜粋です。また問題文Bは、田母神俊雄「田母神前空幕長独占手記」（『W』三二二〇〇九年一月号）からの抜粋です。これらを読んで以下の問に答えなさい。

なお、ここでいう「言論の自由」は、法律用語ではなく日常言語であることを前提に解答しなさい。また、いずれの問においても、字数の制限に反する解答は採点の対象としない（0点とする）ので、特に留意すること。

問一 「言論の自由」についての内田樹の立場と、ノーム・チョムスキーの立場をそれぞれ説明し、その後両者の違いを説明しなさい。

解答は七〇〇字以上一〇〇〇字以内で行うこと。（30点）

問二 ノーム・チョムスキーの立場から、内田樹の主張する「言論の自由」のあり方を五〇〇字以上一〇〇〇字以内で批判しなさい。（30点）

問三 内田樹の立場から、問題文Bで田母神前空幕長によって主張されている「言論の自由」の要求を五〇〇字以上一〇〇〇字以内で批判しなさい。

（40点）